

誤		正	
【目 次】		【目 次】	
第1章 総 則		第1章 総 則	
1-1	目 的 ----- 1	1-1	目 的 ----- 1
1-2	適用範囲 ----- 1	1-2	適用範囲 ----- 1
1-3	用語の定義 ----- 2	1-3	用語の定義 ----- 2
第2章 測 定 器		第2章 測 定 器	
2-1	測定方法 ----- 3	2-1	測定方法 ----- 3
2-2	構 造 ----- 4	2-2	構 造 ----- 4
2-3	作業手順 ----- 7	2-3	作業手順 ----- 7
2-4	測定値の算定 ----- 14	2-4	測定値の算定 ----- 16
2-5	測定器の品質確保 ----- 17	2-5	測定器の品質確保 ----- 19
第3章 単位水量及び水セメント比の管理		第3章 単位水量及び水セメント比の管理	
3-1	適用範囲 ----- 19	3-1	適用範囲 ----- 21
3-2	品質管理基準 ----- 19	3-2	品質管理基準 ----- 21
3-3	規格値 ----- 20	3-3	規格値 ----- 22
3-4	品質管理データの作成 ----- 20	3-4	品質管理データの作成 ----- 22
参 考 資 料		参 考 資 料	

誤	正
<p>(5) データ入力にあたっては、下記事項に留意する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① データ入力は、図2-2 タッチパネルの操作手順に従い操作する。 ② データ入力の前に、図2-3 単位水量及び水セメント比測定データ表に、配合報告書等から、必要な事項を記載しておく。 ③ 配合項目の選択は、コンクリートの打込み現場で測定する場合は、生コンクリート製造者の容積補償による容積割増やスランプロス補正を考慮した「現場配合」(MT-400 の場合：「修正標準配合」)を選択する。なお、試験室で行うコンクリートの配合試験で測定する場合は、「示方配合」(MT-400 の場合：「標準配合」)を選択する。 <p style="text-align: center;">- 10 -</p>	<p>(5) データ入力にあたっては、下記事項に留意する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① データ入力は、図2-2 タッチパネルの操作手順に従い操作する。 ② データ入力の前に、図2-3と図2-4 単位水量及び水セメント比測定データ表に、配合計画書等から、必要な事項を記載しておく。 ③ 配合項目の選択は、MT-200, 300 は、旧 JIS 規格で製作されており、「示方配合」、「現場配合」の名称は、配合定義の見直しにより、「標準配合」又は「修正標準配合」で置き換えて読む。この場合、「標準配合」、「修正標準配合」は荷卸し地点の配合であり、標準配合欄と修正標準配合欄が同じ値となる(いずれも混練量を 1.000 とする)。MT-400 の場合は、「標準配合」又は「修正標準配合」を選択する。 <p style="text-align: center;">- 10 -</p>
<p>(10) 図2-3 単位水量及び水セメント比測定表の作成にあたっては、下記事項に留意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 単位水量及び水セメント比測定表に、コンクリート中の水量試験表(印字記録表)を張り付けるものとする。 ② 単位水量及び水セメント比測定データ表に記載する現場配合は、容積補償による容積割増及びスランプロス補正を考慮した配合値とする。ただし、骨材の表面水補正を行う前の値とする。 ③ 単位水量及び水セメント比測定データ表に記載する細骨材の吸水率で、吸水率が異なる複数の細骨材を使用した場合は、加重平均で求めた吸水率とする。 ④ コンクリート中の水量試験表「6. 現場配合(修正標準配合)」では、粗骨材種別による選択から粗骨材に砂利を使用した場合は、粗骨材量が印字され、碎石を使用した場合は、碎石粗骨材量が印字される。なお、「示方配合(標準配合)」及び「印字記録」も同様である。 ⑤ コンクリート中の水量試験表「7. 結果」に印字される推定強度は参考値とし、品質管理の対象外なので、単位水量及び水セメント比測定データ表には記載しない。 <p style="text-align: center;">- 11 -</p>	<p>(10) 図2-3と図2-4 単位水量及び水セメント比測定表の作成にあたっては、下記事項に留意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 単位水量及び水セメント比測定表に、コンクリート中の水量試験表(印字記録表)を張り付けるものとする。 ② 単位水量及び水セメント比測定データ表に記載する細骨材の吸水率で、吸水率が異なる複数の細骨材を使用した場合は、加重平均で求めた吸水率とする。 ③ コンクリート中の水量試験表では、粗骨材種別による選択から粗骨材に砂利を使用した場合は、粗骨材量が印字され、碎石を使用した場合は、碎石粗骨材量が印字される。 ④ コンクリート中の水量試験表「7. 結果」に印字される推定強度は参考値とし、品質管理の対象外なので、単位水量及び水セメント比測定データ表には記載しない。 <p style="text-align: center;">- 11 -</p>

誤

図2-3 単位水量及び水セメント比測定表 (記入例)

単位水量及び水セメント比測定データ表 (平方配合・現場配合・印字記録) MT-200 (標準配合・修正標準配合)			
工事名	〇〇〇構造物 工事 (工種: 〇〇式橋梁)		
出荷プラント	会社名: 〇〇生コンクリート(株) 工場名: 〇〇工場 地区: 〇〇町〇〇 TEL: -	車NO等 40	試験番号 616
打設年月日	平成〇〇年〇月〇日(月)	時間 AM・PM	9:23
項目	指示事項	項目	備考
混練量 (m³)	①	②	③
W/C (%)	④	⑤	⑥
呼び強度 (N/mm²)	⑦	⑧	⑨
スランプ (cm)	⑩	⑪	⑫
粗骨材の最大寸法 (mm)	⑬	⑭	⑮
空気量 (%)	⑯	⑰	⑱
セメントの種類	BB	S1, S2, S3	Q1, Q2, Q3
測定器 (MT-200, MT-300, MT-400)	粗骨材量 (kg)	⑲	⑳
測定器の規格を○で囲む	①	②	③
混和剤 (kg)	AE剤	④	⑤
回帰係数	⑥	⑦	⑧
(JIS A 1108) 圧縮強度試験結果 (N/mm²)	σ28 =		
打設時のスランプ (cm)	9.0	打設時の空気量 (%)	4.2
打設時のコンクリート温度 (°C)	21.0	練り置き時間 (分)	30
可否の判定	合格	推定水量 (測定値)	144.9
測定者: 所属	〇〇〇〇	氏名	〇〇 〇〇 印
立会者: 所属	〇〇〇〇構造物工事 現場代理人	氏名	〇〇 〇〇

測定結果アウトプットシート添付

コンクリート中の水量試験表 MT-200又はMT-300 又は[MT-400]	
1. 試験	1) 試験年月日 〇〇年〇月〇日 13時30分 2) 打設箇所 (工種) 〇〇式橋梁 3) 試験番号 616
2. コンクリート指定事項	1) 呼び強度 24.0N/mm² 2) スランプ 8 cm 3) スランプフロー 0 cm 4) 粗骨材の最大寸法 25 mm 5) 空気量 4.5 % 6) 水セメント比 55.0 % 7) セメントの種類
3. 示方配合 (標準配合)	1) 水セメント比 51.5 % 2) 配合強度 29.3N/mm²
4. 試験値	1) 結合水補正係数 1.355 2) 粗骨材の吸水率 1.60 % 3) 回帰式 A B 23.5
5. 計量	1) 乾燥前のモルタル質量 490.3g 2) 乾燥後のモルタル質量 348.7g 3) 乾燥水量 51.6 g
6. 現場配合 (修正標準配合)	合計 144.9 (A) 合計 51.40% (B) 合計 282 (C) 合計 718 (D) 砕石粗骨材量合計 1200kg (E)
7. 結果	1) 推定水量 144.9/1.020 2) 推定水セメント比 51.40% 3) 誤差 (水セメント比) -0.1% 4) 推定強度 29.72N/mm²

正

図2-3 単位水量及び水セメント比測定表 (記入例) MT-200・MT-300用

単位水量及び水セメント比測定データ表 (平方配合・現場配合・印字記録)			
工事名	〇〇〇構造物 工事 (工種: 〇〇式橋梁)		
出荷プラント	会社名: 〇〇生コンクリート(株) 工場名: 〇〇工場 地区: 〇〇町〇〇 TEL: -	車NO等 40	試験番号 616
打設年月日	平成〇〇年〇月〇日(月)	時間 AM・PM	9:23
項目	指示事項	項目	備考
混練量 (m³)	①	②	③
W/C (%)	④	⑤	⑥
呼び強度 (N/mm²)	⑦	⑧	⑨
スランプ (cm)	⑩	⑪	⑫
粗骨材の最大寸法 (mm)	⑬	⑭	⑮
空気量 (%)	⑯	⑰	⑱
セメントの種類	BB	S1, S2, S3	Q1, Q2, Q3
測定器 (MT-200, MT-300)	粗骨材量 (kg)	⑲	⑳
測定器の規格を○で囲む	①	②	③
混和剤 (kg)	AE剤	④	⑤
回帰係数	⑥	⑦	⑧
(JIS A 1108) 圧縮強度試験結果 (N/mm²)	σ28 =		
打設時のスランプ (cm)	9.0	打設時の空気量 (%)	4.2
打設時のコンクリート温度 (°C)	21.0	練り置き時間 (分)	30
可否の判定	合格	推定水量 (測定値)	144.9
測定者: 所属	〇〇〇〇	氏名	〇〇 〇〇 印
立会者: 所属	〇〇〇〇構造物工事 現場代理人	氏名	〇〇 〇〇

測定結果アウトプットシート添付

コンクリート中の水量試験表 MT-200又はMT-300	
1. 試験	1) 試験年月日 〇〇年〇月〇日 13時30分 2) 打設箇所 (工種) 〇〇式橋梁 3) 試験番号 616
2. コンクリート指定事項	1) 呼び強度 24.0N/mm² 2) スランプ 8 cm 3) スランプフロー 0 cm 4) 粗骨材の最大寸法 25 mm 5) 空気量 4.5 % 6) 水セメント比 55.0 % 7) セメントの種類
3. 示方配合 (標準配合)	1) 水セメント比 51.5 % 2) 配合強度 29.3N/mm²
4. 試験値	1) 結合水補正係数 1.355 2) 粗骨材の吸水率 1.60 % 3) 回帰式 A B 23.5
5. 計量	1) 乾燥前のモルタル質量 490.3g 2) 乾燥後のモルタル質量 348.7g 3) 乾燥水量 51.6 g
6. 現場配合 (修正標準配合)	合計 144.9 (A) 合計 51.40% (B) 合計 282 (C) 合計 718 (D) 砕石粗骨材量合計 1200kg (E)
7. 結果	1) 推定水量 144.9/1.000 2) 推定水セメント比 51.40% 3) 誤差 (水セメント比) -0.1% 4) 推定強度 29.72N/mm²

注1) MT-200,300は、旧JIS規格で製作されており、「示方配合」、「現場配合」の名称は、配合定義の見直しにより、「標準配合」又は「修正標準配合」で置き換えて読む。

誤

正

図2-4 単位水量及び水セメント比測定表(記入例) MT-400用

測定結果アウトプットシート添付

単位水量及び水セメント比測定データ表 入力配合 (標準配合 (標準配合)・印字記録)			
工事名	〇〇〇〇株式会社 工事 (工種: 〇〇式構造物)		
出 発 プラント	会社名	〇〇生コンクリート(株)	庫NO等
	工場名	〇〇工場	試験番号
打設年月日	平成〇〇年〇月〇日(月)	時間	A・PL: 23
項目	指示事項	項目	備考
混練量 (m³)		① 1.000	
W/C (%)	① 55	W/C (%) ② 51.5	
呼び強度 (N/mm²)	② 24	配合強度 (N/mm²) ③ 29.3	
スランプ (cm)	② 8	水量 (kg) ④ 145	
粗骨材の最大寸法 (mm)	④ 25	セメント量 (kg) ⑤ 282	
空気量 (%)	⑤ 4.5	粗骨材種類	量 (kg)
セメントの種類	BB	S1	718
		S2	
		S3	
		粗骨材合計	⑥ 718
		粗骨材量	量 (kg)
		G1	1200
		G2	
		G3	
		粗骨材合計	⑦ 1200
		混和剤	AE剤
			0.962
		回帰係数	A = -16.0
			B = 23.5
			φ 25 =
打設時のスランプ (cm)	9.0	打設時の空気量 (%)	4.2
打設時のツツ+温度 (°C)	21.0	攪り置き時間 (分)	⑧ 30
可否の判定	合格	推定水量 (測定値)	A 144.9
		単位水量誤差 (kg/設定混練量)	A-⑧
		混入配合の設定水量を比較対象として下す (%)	-0.1 (kg/1.000m³)
測定者: 所属	〇〇〇〇	氏名	〇〇 〇〇 印
立会者: 所属	〇〇構造物工事 現場代理人	氏名	〇〇 〇〇

コンクリート中の水量試験表 [MT-400]	
1. 試験	
1) 試験年月日	〇〇年〇月〇日
2) 打設箇所(工種)	〇〇式構造物
3) 試験番号	616
2. コンクリート指定事項	
1) 呼び強度	24.0N/mm² ②
2) スランプ	8 cm ③
3) スランプフロー	0 cm
4) 粗骨材の最大寸法	25 mm ④
5) 空気量	4.5 % ⑤
6) 水セメント比	55.0 % ①
7) セメントの種類	
3. 入力配合	
1) 水セメント比	51.5 % ⑥
2) 配合強度	29.3N/mm² ⑦
4. 試験値	
1) 結合水補正係数	1.355 % ⑨
2) 粗骨材の吸水率	1.60 % ⑩
3) 回帰式A	-16.0
	B 23.5 ⑪
5. 計量	
1) 乾燥前の材料質量	400.3g
2) 乾燥後の材料質量	348.7g
3) 乾燥水量	51.6g
6. 標準配合又は修正標準配合	
合計	1.000 (m³) ⑫
	145.0 (kg) ⑬
	5 (kg) ⑭
合計	282 (kg) ⑮
	718 (kg) ⑯
	1200kg ⑰
7. 結果	
1) 推定水量	144.9/1.000
2) 推定水セメント比	51.40%
3) 誤差(水セメント比)	-0.1%
4) 推定強度	29.72N/mm²

注1) 「標準配合」、「修正標準配合」は荷卸し地点の配合であり、標準配合欄と修正標準配合欄が同じ値となる(いずれも混練量を1.000とする)。

正誤表

誤	正
	<p>※参考 配合の種別(土木学会 コンクリート標準示方書(2012年制定)、JISより抜粋)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>示方配合: 所定の品質のコンクリートが得られるような配合で仕様書又は責任技術者によって指示されたもの。コンクリートの練上り1m³の材料使用量で表す。</p> <p>現場配合: JISの場合: 示方配合のコンクリートが得られるように、現場における材料の状態及び計量方法に応じて定めた配合。</p> <p>土木学会の場合: 計画配合のコンクリートが得られるように、現場における材料の状態及び計量方法に応じて定めた配合。</p> <p>標準配合: レディーミクストコンクリート工場で社内標準の基本としている配合で、標準状態の運搬時間(30分程度)における標準期の配合(通常期、中間期、春秋期等、コンクリートの温度が20℃前後)として標準化されている配合。</p> <p>修正標準配合: 標準配合に対して、出荷時のコンクリートの温度が標準配合で想定した温度より大幅に相違する場合、運搬時間が標準状態から大幅に変化する場合、若しくは、骨材の品質が所定の範囲を超えて変動する場合に修正を行った配合。</p> </div> <p>なお、ミータでは、上記配合名を総称して入力配合と呼ぶ。</p> <p style="text-align: center;">- 15 -</p>
<p>※3 試験基準において、1日当たり100m³/日以上が単位水量測定の対象である。水セメント比(W/C)の測定は、特記仕様書で定められた構造物が対象であり、日当たり打設量は関係無く、測定を行うものである。</p> <p>※4 摘要において、単位水量測定の上限值165kg/m³(40mm)、175kg/m³(20~25mm)は、標準配合(配合報告書)で確認を行うことである。夏場、冬場等で修正標準配合を行うときは、この上限規定は適用されない。</p> <p style="text-align: center;">- 20</p>	<p>※3 試験基準において、1日当たり100m³/日以上が単位水量測定の対象である。水セメント比(W/C)の測定は、特記仕様書で定められた構造物が対象であり、日当たり打設量は関係無く、測定を行うものである。</p> <p>※4 摘要において、単位水量測定の上限值165kg/m³(40mm)、175kg/m³(20~25mm)は、標準配合(配合計画書)で確認を行うことである。夏場、冬場等で修正標準配合を行うときは、この上限規定は適用されない。</p> <p style="text-align: center;">- 22 -</p>

W/Cミータによるコンクリート単位水量及び水セメント比管理要領(案)(平成26年6月 コンクリート単位水量測定器・普及促進委員会) 正誤表

誤

様式 1

単位水量及び水セメント比測定表

測定結果アウトプットシート添付

水セメント比測定データ表 (示方配合・現場配合・印字記録) MT-400(標準配合・修正標準配合)					
工事名	工事 (工種:)				
出荷 プラント	会社名 :	車NO等	試験番号		
	工場名 :				
	地区 :				
打設年月日	平成 年 月 日 ()		時間 AM・PM :		
項目	指示事項	項目	示方配合 (標準配合)	現場配合 (修正標準配合)	備考
流練量 (m ³)	/	/			現場配合欄には、容積 補償割合及びスランプ 補正等を考慮した配合 値を記入する。 ただし、骨材の表面水 補正前の値とする。
W/C (%)		W/C (%)			
呼び強度 (N/mm ²)		配合強度 (N/mm ²)			
スランプ (cm)		水量 (kg)			
粗骨材の最 大寸法(mm)		セメント量 (kg)			
空気量 (%)		細骨材種類	量 (kg)	量 (kg)	吸水量 (%)
		S1			Q1
		S2			Q2
		S3			Q3
		細骨材合計			①平均吸水量 Q _a =(S1×Q1+S2×Q2+S3×Q3)÷ΣS1~S3 Q _a
測定器 [MT-200] [MT-300] [MT-400]		粗骨材量	量 (kg)	量 (kg)	砂利・砕石の別を○ で囲む
		砂利・砕石			
		G1			
		G2			
		G3			
		粗骨材合計			
測定器の規 格を○で囲 む		水和剤 (kg)			
		回帰係数	$\sigma = A + B \times C / W$		
		A=			
		B=			
(JIS A 1108) 圧縮強度試験結果 (N/mm ²)		$\sigma 28 =$			
打設時のスランプ (cm)		打設時の空気量 (%)			
打設時のコンクリート温度 (°C)		練り置き時間 (分)			
合格の判定	合格 不合格	推定水量 (測定値)			
		単位水量誤差 (kg/設定標準量)			
		※入力の配合により示方配合・現場配合の設 定水量を比較対象として下さい。			
測定者: 所属		氏名			印
立会者: 所属		氏名			

コンクリート中の水量試験表
MT-200又はMT-300
又はMT-400

- 試験
 - 試験年月日 年 月 日 時 分
 - 打設箇所 (工種)
 - 試験番号
- コンクリート指定事項
 - 呼び強度 N/mm²
 - スランプ cm
 - スランプフロー cm
 - 粗骨材の最大寸法 mm
 - 空気量 %
 - 水セメント比 %
 - セメントの種類
- 示方配合 (標準配合)
 - 水セメント比 %
 - 配合強度 N/mm²
- 試験値
 - 結合水補正係数 %
 - 細骨材の吸水量 %
 - 回帰式A

B

- 計量
 - 乾燥前の湿り質量 g
 - 乾燥後の湿り質量 g
 - 乾燥水量 g
- 現場配合 (修正標準配合)

合計	W (kg)	
合計	C (kg)	S (kg)
合計		B (kg)

砂利粗骨材量合計 kg

7. 結果

- 推定水量
- 推定水セメント比 %
- 誤差 (水セメント比) %
- 推定強度 N/mm²

正

様式 1

単位水量及び水セメント比測定表 MT-200・MT-300用

測定結果アウトプットシート添付

水セメント比測定データ表 (示方配合・現場配合・印字記録)					
工事名	工事 (工種:)				
出荷 プラント	会社名 :	車NO等	試験番号		
	工場名 :				
	地区 :				
打設年月日	平成 年 月 日 ()		時間 AM・PM :		
項目	指示事項	項目	示方配合 (a)	現場配合 (b)	備考
流練量 (m ³)	/	/			現場配合欄には、容積 補償割合及びスランプ 補正等を考慮した配合 値を記入する。 ただし、骨材の表面水 補正前の値とする。
W/C (%)		W/C (%)			
呼び強度 (N/mm ²)		配合強度 (N/mm ²)			
スランプ (cm)		水量 (kg)			
粗骨材の最 大寸法(mm)		セメント量 (kg)			
空気量 (%)		粗骨材種類	量 (kg)	量 (kg)	吸水量 (%)
		S1			Q1
		S2			Q2
		S3			Q3
		粗骨材合計			①平均吸水量 Q _a =(S1×Q1+S2×Q2+S3×Q3)÷ΣS1~S3 Q _a
測定器 [MT-200] [MT-300]		粗骨材量	量 (kg)	量 (kg)	砂利・砕石の別を○ で囲む
		砂利・砕石			
		G1			
		G2			
		G3			
		粗骨材合計			
測定器の規 格を○で囲 む		水和剤 (kg)			
		回帰係数	$\sigma = A + B \times C / W$		
		A=			
		B=			
(JIS A 1108) 圧縮強度試験結果 (N/mm ²)		$\sigma 28 =$			
打設時のスランプ (cm)		打設時の空気量 (%)			
打設時のコンクリート温度 (°C)		練り置き時間 (分)			
合格の判定	合格 不合格	推定水量 (測定値)			
		単位水量誤差 (kg/設定標準量)			
		※入力の配合により示方配合・現場配合の設 定水量を比較対象として下さい。			
測定者: 所属		氏名			印
立会者: 所属		氏名			

コンクリート中の水量試験表
MT-200又はMT-300

- 試験
 - 試験年月日 年 月 日 時 分
 - 打設箇所 (工種)
 - 試験番号
- コンクリート指定事項
 - 呼び強度 N/mm²
 - スランプ cm
 - スランプフロー cm
 - 粗骨材の最大寸法 mm
 - 空気量 %
 - 水セメント比 %
 - セメントの種類
- 示方配合
 - 水セメント比 %
 - 配合強度 N/mm²
- 試験値
 - 結合水補正係数 %
 - 細骨材の吸水量 %
 - 回帰式A

B

- 計量
 - 乾燥前の湿り質量 g
 - 乾燥後の湿り質量 g
 - 乾燥水量 g
- 現場配合

合計	W (kg)	
合計	C (kg)	S (kg)
合計		B (kg)

砂利粗骨材量合計 kg

7. 結果

- 推定水量
- 推定水セメント比 %
- 誤差 (水セメント比) %
- 推定強度 N/mm²

注1) MT-200,300は、旧JIS規格で製作されており、「示方配合」、「現場配合」の名称は、配合定義の見直しにより、「標準配合」又は「修正標準配合」で置き換えて読む。

W/Cミータによるコンクリート単位水量及び水セメント比管理要領(案)(平成26年6月 コンクリート単位水量測定器・普及促進委員会)
 正誤表

誤

正

機式 1

単位水量及び水セメント比測定表 MT-400用

測定結果アウトプットシート添付

水セメント比測定データ表 入力配合 (標準配合・修正標準配合・印字記録)					
工事名		工事 (工種:)			
出荷プラント	会社名:	車NO等	試験番号		
	工場名:				
	地区:				
打設年月日	平成 年 月 日 ()		時間 AM・PM :		
項目	指示事項	項目	値(%)	備考	
流注量 (m³)		標準配合	修正標準配合	現場配合欄には、容積標準配合及びスランブ修正等を考慮した配合値を記入する。ただし、骨材の表面水補正前の値とする。	
W/C (%)		W/C (%)			
呼び強度 (N/mm²)		配合強度 (N/mm²)			
スランブ (cm)		水量 (kg)			
粗骨材の最大寸法 (mm)		セメント量 (kg)			
空気量 (%)		細骨材種類	量 (kg)		吸水率 (%)
セメントの種類		S1			Q1
		S2			Q2
		S3			Q3
		粗骨材合計			①平均吸水率 Q = (S1×Q1 + S2×Q2 + S3×Q3) ÷ (S1 + S2 + S3)
測定器 [MT-400]		粗骨材量	量 (kg)	砂利・砕石の別を○で囲む	
		砂利・砕石			
		G1			
		G3			
		粗骨材合計			
		混和剤 (kg)			
		回帰係数	$\sigma = A + B \times C/R$ A = B =		
		(JIS A 1108) 圧縮強度試験結果 (N/mm²)	$\alpha 28 =$		
		打設時のスランブ (cm)	打設時の空気量 (%)		
		打設時のコンクリート温度 (°C)	練り置き時間 (分)		
可否の判定	合格	不合格	推定水量 (測定値)		
			単位水量係数 (kg/設定標準量) 既入の配合の測定水量を比較対象として下記に。		
測定者: 所属		氏名	印		
立会者: 所属		氏名			

コンクリート中の水量試験表 MT-400	
1. 試験	
1) 試験年月日	年 月 日 時 分
2) 打設箇所 (工種)	
3) 試験番号	
2. コンクリート指定事項	
1) 呼び強度	N/mm²
2) スランブ	cm
3) スランブフロー	cm
4) 粗骨材の最大寸法	mm
5) 空気量	%
6) 水セメント比	%
7) セメントの種類	
3. 入力配合	
1) 水セメント比	%
2) 配合強度	N/mm²
4. 試験値	
1) 結合水補正係数	%
2) 粗骨材の吸水率	%
3) 回帰式A	
	B
5. 計量	
1) 乾燥前の試料質量	g
2) 乾燥後の試料質量	g
3) 乾燥水量	g
6. 標準配合又は修正標準配合	
コンクリート	W (kg)
合計	C S (kg)
合計	C S (kg)
合計	kg
7. 結果	
1) 推定水量	
2) 推定水セメント比	%
3) 誤差 (水セメント比)	%
4) 推定強度	N/mm²

注1) 「標準配合」、「修正標準配合」は荷卸し地点の配合であり、標準配合欄と修正標準配合欄が同じ値となる (いずれも混練量を1.000とする)。

誤

正

参考資料

※ 検査用モルタル配合

設計条件	強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	骨材寸法 (mm)	空気量 (%)	W/C (%)	単位水量 (kg/m ³)
土木用 (L)	24	12	25	4.5	50	160
建築用 (H)	24	18	25	4.5	50	180

示方配合	W/C (%)	W (kg/m ³)	C (kg/m ³)	S (kg/m ³)	G (kg/m ³)	AD (kg/m ³)
土木用 (L)	50	160	320	707	1098	3.2
建築用 (H)	50	180	360	733	988	3.6

モルタル 配合	W (g)	C (g)	S (g)	AD (ml)
土木用 (L)	292	554	1201	6.1
建築用 (H)	305	576	1160	6.3

- 13 -
 - 17 -
 - 21 -

参考資料

※ 検査用モルタル配合は、実施機関の基準による。

[参考]

設計条件	強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	骨材寸法 (mm)	空気量 (%)	W/C (%)	単位水量 (kg/m ³)
土木用 (L)	24	12	25	4.5	50	160
建築用 (H)	24	18	25	4.5	50	180

- 13 -
 - 17 -
 - 21 -